

学 位 論 文 の 調 査 要 旨

専 攻 名 (又は推薦専攻名)	地域イノベーション学専攻	氏 名	石田 尚子
学位論文題目	児童の労働意識・労働意欲を喚起するためのキャリア教育的施策に関する考察：親の職場を見学する意義 英訳：Study on career-educational programs for motivating children to work : Significance of observing parents' work		
調査委員会	委員長 矢野 竹男 委員 西村 訓弘 委員 末原 憲一郎		
<p>1. 調査結果の要旨</p> <p>本研究は、調査研究が十分実施されていない小学生の労働意欲・労働意識について、小学校 4 年生から 6 年生を対象に調査し、その調査結果をもとに小学生の労働に対する意識を促すためのキャリア教育的施策を提起するものである。調査方法は三重県四日市市内の小学校の 4・5・6 年生 290 名を対象として、被験者の将来の労働に対する意識・意欲を回答選択方式の質問票を用いた訪問留置調査によるアンケートを行った。その調査結果から小学生に労働に対する意識を向上させるためには、その保護者の労働現場を見せることが労働意識を向上させるための有効な手法の一つと仮定し、その実証を三重県伊勢市内の食品製造業企業にて試みたものである。即ち、本論文は、日本の現在の労働問題の解決手法の一つとして、大学、高等学校、中学校と実施されてきたキャリア教育を小学校に導入するための方法・手段を考察するという点において、有意義な研究である。</p> <p>2. 関連論文等の発表状況</p> <p>論文提出者が第 1 著者である邦文関連論文 1 報が 2018 年度に査読のある雑誌（経済教育学会誌）に掲載済みである。また、英文プロシーディングのある国際学会での発表については、第 8 回、第 9 回の International Workshop on Regional Innovation Studies で行われている。したがって、「三重大学大学院地域イノベーション学研究科博士後期課程学位審査内規」および同申合せの条件を満たしている。</p>			